

進学課程 科目と内容

		聴解	文法 (表現・ことば)	漢字	作文	読解	会話	発表
A1	初級 I 3 か月 200 時間	授業での教員の簡単な説明、指示を聞き、聴解力をつけていく。また、会話DVDで簡単な会話を聞き取る練習をする。	日本で生活するための最低限必要な場面での日本語、また人間関係を構築するために必要な最低限の会話、互いを知るための会話に必要なことば、表現が口頭でも文章でも運用できるようにする。	漢字冊子を使用し、2 日 (1 単位時間) かけて 1 ページ 8 個ずつ「読み」「書き」を漢字カード等から学び、漢字のなつちに注目しながら、意味、使い方を知り、文作りの練習をする。	自分についてのテーマ (個人の経験、願望、自分の国) を扱い、学習したことばや文法を口頭で確認した後、200~400 字で作文を書く。	短い読み物や身近なトピックのまとまった文章を読み、その後、内容について質問し、それに答えることで内容を確認していく。文字を正しく読んでいく音読の練習も行う。	日本で生活するための最低限必要な場面でのやりとりができるように、ミニ会話、まとまった談話レベルの会話の練習をする。その際、発音の指導や非言語コミュニケーションも学ぶ。	自己紹介や家族の紹介、日本のある一日について発表する。
A2	初級 II 6 か月 400 時間	授業での教員の文法の説明、練習の指示、また、会話DVDで身近な話題の会話を聞き取る練習で聴解力をつけていく。音声問題では、日本で経験すると思われる場面や状況で、必要な情報をとるためのタスクを達成していく。	日常生活を送る上で必要な人間関係の場で使われる日本語、また良好な人間関係を構築するために必要な会話、互いを知るための会話に必要なことば、表現が口頭でも文章でも運用できるようにする。	漢字冊子を使用し、2 日 (1.5 単位時間) かけて 1 ページ 8 個ずつ「読み」「書き」を漢字カード等から学び、漢字のなつちを確認しながら、意味、使い方を知り、文作りの練習をする。	自分についてのテーマ (個人の経験、願望、身近なものの説明) を扱い、学習したことばや文法を口頭で確認した後、400 字程度で作文を書く。	短い読み物や、身近なトピックのまとまった文章を読む前に、そのトピックについて話し合う。文章を読み、内容について質問し、問題の答えを確認していく。読み終えた後、意見を口頭、もしくは文章で表す。音読の練習ではことばの途中で切らず、ひとまとまり読み、長音や促音の拍に気を付ける。JLPTN5・N4レベルの読解問題に慣れる。	日本で生活するため、人間関係を作っていくために最低限必要な場面でのやりとりができるように、ミニ会話、まとまった談話レベルの会話の練習をする。その際、発音の指導や非言語コミュニケーションも学ぶ。ゲームやタスク活動で会話の運用力を上げる。	学習したことば・表現を使って失敗したこと、嫌だったこと、驚いたこと等の日本での経験談や自分の部屋の説明、大切な人等について発表する。
B1	初中級 3 か月 200 時間	ある身近なテーマに関する話を聞き、内容に関する質問に口頭で、時にはシートに記入する。時間があれば、異文化理解、情報交換、日本事情として話し合う。JLPTN3レベルの聴解問題を解き、問題に慣れる。	日常生活で行われる様々な場面での会話に必要なことばや表現、また自分自身の長所短所、性格等を紹介することばや表現が運用できるようにする。JLPTN3レベルの問題を解き、問題に慣れる。	漢字冊子 (タブレット内)、テキストを使用し、毎日もしくは隔日で 1 単位時間 (4.5 分) かけて 5、6 個ずつ「読み」「書き」を PPT・漢字カード等から学び、漢字の部首を確認しながら、意味、ことばとしての使い方、文作りの練習をする。JLPTN3レベルの問題を解き、問題に慣れる。	身近なことに係るテーマを扱い、学習したことばや表現を口頭で確認し、テーマについての意見を互いに交換した後、400 字程度で作文を書く。	日本社会や文化、考え方や身近な社会的なテーマを扱った様々な内容の文章を読んでいく。読む前にそのトピックについて話し合う。文章を読み、内容について質問し、問題の答えを確認していく。読み終えた後、意見を口頭、もしくは文章で表す。音読ではプロソディに注目した練習をする。JLPTN3レベルの読解問題を解き、問題に慣れる。	身近なテーマについて自分の意見や経験を学習者同士で交換し、その問題の原因や解決策を話し合う。	学習したことば・表現を使って、身近なことに係るテーマについて学習者同士、またはクラスの前で発表する。
B1	中級 I 3 か月 200 時間	2 人以上の人物の会話を聞いて、流れを追い、必要な情報を聞き取っていく。留学生に身近なテーマのある人の話、説明を聞き、第三者に伝える。内容の要点を聞き取っていく。JLPTN3レベルの聴解問題を解き、問題に慣れる。	使用場面 (改まった場での会話・友だちとの会話) や書き言葉・話し言葉の使い分けを練習する。ことば・表現の意味の理解、実際の運用につながる練習を行い、ある場面を与え、適切に運用できるかを口頭や文章で学習者同士で確認し合う。理解から運用への指導を中心に行う。JLPTN3レベルの問題を解き、問題に慣れる。	テキストを使用し、あるテーマ・場面においてよく使用される漢字を使ったことばを学ぶ。毎日もしくは隔日で 1 単位時間 (4.5 分) かけて 5、6 個ずつ「読み」「書き」を PPT・漢字カード等を使って、漢字の部首や音を確認しながら、意味、ことばとしての使い方、文作りを指導する。JLPTN3レベルの問題を解き、問題に慣れる。	身近なことに係るテーマを扱い、学習したことばや表現を口頭で確認し、テーマについての意見を互いに交換した後、400 字程度で作文を書く。説明や自分の考え、意見、どうしてそう思うのかの理由、具体的な例を入れるようにする。	日本社会や文化、考え方や身近な社会的なテーマを扱った様々な内容の文章を読んでいく。読む前にそのトピックについて話し合う。全文の大意を取り、話の構成を確認し、段落ごとに精読していく。読み終えた後、意見を口頭、もしくは文章で表す。音読ではプロソディに注目した練習をする。JLPTN3レベルの読解問題を解き、問題に慣れる。	身近なテーマについて自分の意見や経験を学習者同士で交換し、その問題の原因や解決策を話し合う。日常生活で行われる様々な場面でのミニ会話をペアで練習し、学習者同士で考えた会話を発表する。	学習したことば・表現を使って、身近なことに係るテーマについて学習者同士、またはクラスメートの前に立って発表する。
B2	中級 II 9 か月 600 時間	2 人以上の人物の会話を聞いて、流れを追い、必要な情報を聞き取っていく。公の場、講演等の場である人の話、説明を聞き、その内容を理解し、第三者に伝える。内容の要点をとっていく。JLPTN2レベルの聴解問題を解き、問題に慣れる。	公の場、私的な場、様々な場面での会話や文章に必要なことば・表現の意味の理解、実際の運用につながる練習を行い、ある場面を与え、適切に運用できるかを口頭や文章で学習者同士で確認し合う。理解から運用への指導を中心に行う。特にことばや表現の場による使い分けに注意するよう指導する。JLPTN2レベルの問題を解き、問題に慣れる。	テキストを使用し、あるテーマ・場面においてよく使用される漢字を使ったことばを学ぶ。毎日もしくは隔日で 1 単位時間 (4.5 分) かけて 5、6 個ずつ「読み」「書き」を PPT・漢字カード等を使って、漢字の部首や音を確認しながら、意味、ことばとしての使い方、文作りを指導する。初見の漢字のおおよその意味が推測できるように指導していく。JLPTN2レベルの問題を解き、問題に慣れる。	社会的なことに係るテーマを扱い、学習したことばや表現を口頭で確認し、テーマについての意見を互いに交換した後、600 字以上で作文を書く。論理的に意見を述べるようにする。	日本社会や文化、考え方や、社会事情や時事問題も入った様々な内容の文章を読んでいく。読む前にそのトピックについて話し合う。全文の大意を取り、話の構成を確認し、段落ごとに精読していく。読み終えた後、意見を口頭、もしくは文章で表す。音読ではプロソディに注目した練習をする。JLPTN2レベルの読解問題を解き、問題に慣れる。	身近なテーマ・社会的なテーマについて自分の意見や経験を学習者同士で交換し、その問題の原因や解決策を話し合う。日常生活で行われる様々な場面でのミニ会話をペアで練習し、学習者同士で考えた会話を発表する。	学習したことば・表現を使って、身近なテーマ・社会的なテーマについて学習者同士、またはクラスメートの前に立って発表する。タスクをグループで話し合い、発表する。テーマを与え、即興で短いスピーチをする。聴衆をひきつけるように目線、間の取り方、話し方、声の強弱等も練習する。
C1	上級 9 か月 600 時間	ある話題について話し手それぞれの意見が異なる対話を聞き、その情報をまとめて相手に伝える練習をする。また、口語的表現で会話ができるように、合わせて練習をする。独話ではフォーマルな説明、公の場での話、講演等を読み、内容を聞き取り、理解する練習をする。聞きながらノートを取り、文を再構築し、内容をまとめる練習も行う。JLPTN1レベルの聴解問題を解き、問題に慣れる。	公の場、私的な場、様々な場面での会話や文章に必要なことば・表現の意味の理解、実際の運用につながる練習を行い、ある場面を与え、適切に運用できるかを口頭や文章で学習者同士で確認し合う。理解から運用への指導を中心に行う。特にことばや表現の場による使い分けに注意するよう指導する。JLPTN1レベルの問題を解き、問題に慣れる。	テキストを使用し、学習者の留学生生活において必要な場、また専門的な分野においてよく使用される漢字を使ったことばを学ぶ。毎日もしくは隔日で 1 単位時間 (4.5 分) かけて 7、8 個ずつ「読み」「書き」を PPT・漢字カード等を使って、漢字の部首や音を確認しながら、意味、ことばとしての使い方、文作りを指導する。初見の漢字のおおよその意味が推測できるように指導していく。JLPTN1レベルの問題を解き、問題に慣れる。	現代社会の国際的な話題、専門的な内容、社会的なことに係るテーマを扱い、ことばや表現を口頭や文章で確認し、テーマについての意見を互いに交換した後、800 字以上で作文を書く。自分の体験、目の現状をふまえて、原因や意見を述べ、未来の予測も入れていくようにする。	広範な問題を含んだテーマの様々な内容の文章を読んでいく。読む前にそのトピックについて話し合う。全文の大意を取り、話の構成を確認し、段落ごとに精読していく。読み終えた後、意見を口頭、もしくは文章で表す。音読ではプロソディに注目した練習をする。JLPTN1レベルの読解問題を解き、問題に慣れる。	問題を含む広範なテーマについて自分の意見や経験を学習者同士で交換し、その問題の原因や解決策、今後の予測等を話し合う。日常生活で行われる様々な場面でのミニ会話をペアで練習し、学習者同士で考えた会話を発表する。その際、口語的な表現、縮約形、目上かどうか、関係性等を考え、ふさわしい表現が使えるように練習する。身近なテーマでイベント、ディスカッションを行う。	学習したことば・表現を使って、広範なテーマについて自身の経験、考え、変化、新しく得た知識等、学習者同士、またはクラスメートの前に立って発表する。あるテーマを与え、グループでアンケート発表をする。テーマを与え、即興で短いスピーチをする。聴衆をひきつけ、何らかの感情を引き起こすようなプレゼンテーション方法も練習する。

一般課程 科目と内容

		聴解	文法 (表現・ことば)	漢字	作文	読解	会話	発表
A1	初級 I 3 か月 200 時間	授業での教員の簡単な説明、指示を聞き、聴解力をつけていく。また、会話DVDで簡単な会話を聞き取る練習をする。	日本で生活するための最低限必要な場面での日本語、また人間関係を構築するために必要な最低限の会話、互いを知るための会話に必要なことば、表現が口頭でも文章でも運用できるようにする。	漢字冊子を使用し、2 日 (1 単位時間) かけて 1 ページ 8 個ずつ「読み」「書き」を漢字カード等から学び、漢字のなつちに注目しながら、意味、使い方を知り、文作りの練習をする。	自分についてのテーマ (個人の経験、願望、自分の国) を扱い、学習したことばや文法を口頭で確認した後、200~400 字で作文を書く。	短い読み物や身近なトピックのまとまった文章を読み、その後、内容について質問し、それに答えることで内容を確認していく。文字を正しく読んでいく音読の練習も行う。	日本で生活するための最低限必要な場面でのやりとりができるように、ミニ会話、まとまった談話レベルの会話の練習をする。その際、発音の指導や非言語コミュニケーションも学ぶ。	自己紹介や家族の紹介、日本のある一日について発表する。
A2	初級 II 6 か月 400 時間	授業での教員の文法の説明、練習の指示、また、会話DVDで身近な話題の会話を聞き取る練習で聴解力をつけていく。音声問題では、日本で経験すると思われる場面や状況で、必要な情報をとるためのタスクを達成していく。	日常生活を送る上で必要な人間関係の場で使われる日本語、また良好な人間関係を構築するために必要な会話、互いを知るための会話に必要なことば、表現が口頭でも文章でも運用できるようにする。	漢字冊子を使用し、2 日 (1.5 単位時間) かけて 1 ページ 8 個ずつ「読み」「書き」を漢字カード等から学び、漢字のなつちを確認しながら、意味、使い方を知り、文作りの練習をする。	自分についてのテーマ (個人の経験、願望、身近なものの説明) を扱い、学習したことばや文法を口頭で確認した後、400 字程度で作文を書く。	短い読み物や、身近なトピックのまとまった文章を読む前に、そのトピックについて話し合う。文章を読み、内容について質問し、問題の答えを確認していく。読み終えた後、意見を口頭、もしくは文章で表す。音読の練習ではことばの途中で切らず、ひとまとまり読み、長音や促音の拍に気を付ける。JLPTN5・N4レベルの読解問題に慣れる。	日本で生活するため、人間関係を作っていくために最低限必要な場面でのやりとりができるように、ミニ会話、まとまった談話レベルの会話の練習をする。その際、発音の指導や非言語コミュニケーションも学ぶ。ゲームやタスク活動で会話の運用力を上げる。	学習したことば・表現を使って失敗したこと、嫌だったこと、驚いたこと等の日本での経験談や自分の部屋の説明、大切な人等について発表する。
B1	初中級 3 か月 200 時間	あるテーマに関する話を聞き、内容に関する質問に口頭で、時にはシートに記入する。時間があれば、異文化理解、情報交換、日本事情として話し合う。JLPTN3レベルの聴解問題を解き、問題に慣れる。	日常生活で行われる様々な場面での会話に必要なことばや表現、また自分自身の長所短所、性格等を紹介することばや表現が運用できるようにする。JLPTN3レベルの問題を解き、問題に慣れる。就職活動の際、よく使用される敬語の表現を確認、運用できるよう練習をする。	漢字冊子 (タブレット内)、テキストを使用し、毎日もしくは隔日で 1 単位時間 (4.5 分) かけて 5、6 個ずつ「読み」「書き」を PPT・漢字カード等を使って、漢字の部首や音を確認しながら、意味、ことばとしての使い方、文作りの練習をする。JLPTN3レベルの問題を解き、問題に慣れる。	身近なことに係るテーマを扱い、学習したことばや表現を口頭で確認し、テーマについての意見を互いに交換した後、400 字程度で作文を書く。説明や自分の考え、意見、どうしてそう思うのかの理由、具体的な例を入れるようにする。	日本社会や文化、考え方や身近な社会的なテーマを扱った様々な内容の文章を読んでいく。読む前にそのトピックについて話し合う。文章を読み、内容について質問し、問題の答えを確認していく。読み終えた後、意見を口頭、もしくは文章で表す。音読ではプロソディに注目した指導を行う。JLPTN3レベルの読解問題を解き、問題に慣れる。	身近なテーマについて自分の意見や経験を学習者同士で交換し、その問題の原因や解決策を話し合う。日常生活で行われる様々な場面でのミニ会話をペアで練習し、学習者同士で考えた会話を発表する。就職面接でよくある質問に対し、どのように答えるかを話し合い、自己アピールにつなげていく。文化コースでは実際に煎茶、浴衣の着付け体験ややりとりをしながら行っていく。	学習したことば・表現を使って、身近なことに係るテーマについて学習者同士、またはクラスメートの前に立って発表する。
B1	中級 I 3 か月 200 時間	2 人以上の人物の会話を聞いて、流れを追い、必要な情報を聞き取っていく。問題に慣れる。基本的な面接の質問を聞き取る練習をする。文化コースでは和室での所作、煎茶、日本の伝統的な服装や浴衣についての説明を聞く。	使用場面 (改まった場での会話・友だちとの会話) や書き言葉・話し言葉の使い分けを練習する。ことば・表現の意味の理解、実際の運用につながる練習を行い、ある場面を与え、適切に運用できるかを口頭や文章で学習者同士で確認し合う。理解から運用への指導を中心に行う。JLPTN3レベルの問題を解き、問題に慣れる。就職活動の際、よく使用される敬語の表現を確認、運用できるよう練習をする。	テキストを使用し、あるテーマ・場面においてよく使用される漢字を使ったことばを学ぶ。毎日もしくは隔日で 1 単位時間 (4.5 分) かけて 5、6 個ずつ「読み」「書き」を PPT・漢字カード等を使って、漢字の部首や音を確認しながら、意味、ことばとしての使い方、文作りを指導する。初見の漢字のおおよその意味が推測できるように指導していく。JLPTN3レベルの問題を解き、問題に慣れる。	身近なことに係るテーマを扱い、学習したことばや表現を口頭で確認し、テーマについての意見を互いに交換した後、400 字程度で作文を書く。説明や自分の考え、意見、どうしてそう思うのかの理由、具体的な例を入れるようにする。自身の履歴書をブラッシュアップする。	日本社会や文化、考え方や身近な社会的なテーマを扱った様々な内容の文章を読んでいく。読む前にそのトピックについて話し合う。全文の大意を取り、話の構成を確認し、段落ごとに精読していく。読み終えた後、意見を口頭、もしくは文章で表す。音読ではプロソディに注目した指導を行う。JLPTN3レベルの読解問題を解き、問題に慣れる。実際に求人サイトを見て、大切なポイントを指摘し、必要な部分を読み取る練習をする。	身近なテーマについて自分の意見や経験を学習者同士で交換し、その問題の原因や解決策を話し合う。日常生活で行われる様々な場面でのミニ会話をペアで練習し、学習者同士で考えた会話を発表する。ビジネスの場での電話対の流れ、電話を取次ぐ方法、伝言を残す方法を学ぶ。また、ビジネスの場で遭遇するであろう様々な場面での相手尊重した丁寧なやりとりの練習をする。文化コースでは実際に茶道、華道の体験ややりとりをしながら行っていく。	学習したことば・表現を使って、身近なことに係るテーマについて学習者同士、またはクラスメートの前に立って発表する。テーマを与え、即興で短いスピーチをする。聴衆をひきつけ、何らかの感情を引き起こすようなプレゼンテーション方法も練習する。グループで作成した企画書を発表する。
B2	中級 II 9 か月 600 時間	公の場、講演等の場である人の話、説明を聞き、その内容を理解し、第三者に伝える。内容の要点を聞き取っていく。JLPTN2レベルの聴解問題を解き、問題に慣れる。就職活動に有利な BJT の対策も行う。文化コースでは日本の「おもてなし」の精神、訪問、贈り物のマナー、茶道、華道の説明を聞く。	公の場、私的な場、様々な場面での会話や文章に必要なことば・表現の意味の理解、実際の運用につながる練習を行い、ある場面を与え、適切に運用できるかを口頭や文章で学習者同士で確認し合う。理解から運用への指導を中心に行う。特にことばや表現の場による使い分けに注意するよう指導する。JLPTN2レベルの問題を解き、問題に慣れる。社会人としてふさわしいメールが送れるように、返信・転送・添付等がよく使用される表現、ことばを練習する。	テキストを使用し、あるテーマ・場面においてよく使用される漢字を使ったことばを学ぶ。毎日もしくは隔日で 1 単位時間 (4.5 分) かけて 7、8 個ずつ「読み」「書き」を PPT・漢字カード等を使って、漢字の部首や音を確認しながら、意味、ことばとしての使い方、文作りを指導する。初見の漢字のおおよその意味が推測できるように指導していく。JLPTN2レベルの問題を解き、問題に慣れる。	社会的なことに係るテーマを扱い、学習したことばや表現を口頭で確認し、テーマについての意見を互いに交換した後、600 字以上で作文を書く。客観的な例や理由を入れ、論理的に意見を述べるようにする。就職活動、就職後に必要なビジネスメールの練習をする。自身の履歴書をブラッシュアップする。	日本社会や文化、考え方や、社会事情や時事問題も入った様々な内容の文章を読んでいく。読む前にそのトピックについて話し合う。全文の大意を取り、話の構成を確認し、段落ごとに精読していく。読み終えた後、意見を口頭、もしくは文章で表す。音読ではプロソディに注目した指導を行う。JLPTN2レベルの読解問題を解き、問題に慣れる。実際の企業 HP を読み、情報を取り出す練習をする。日本で多くみられる働き方や、キャリアに対する見方、慣習、外国人社員が経験する問題等を読む。就職活動に有利となる BJT 対策も行う。	身近なテーマ・社会的なテーマについて自分の意見や経験を学習者同士で交換し、その問題の原因や解決策を話し合う。日常生活で行われる様々な場面でのミニ会話をペアで練習し、学習者同士で考えた会話を発表する。ビジネスの場での電話対の流れ、電話を取次ぐ方法、伝言を残す方法を学ぶ。また、ビジネスの場での遭遇するであろう様々な場面での相手尊重した丁寧なやりとりの練習をする。文化コースでは実際に茶道、華道の体験ややりとりをしながら行っていく。	学習したことば・表現を使って、身近なテーマ・社会的なテーマについて学習者同士、またはクラスメートの前に立って発表する。テーマを与え、即興で短いスピーチをする。聴衆をひきつけ、何らかの感情を引き起こすようなプレゼンテーション方法も練習する。グループで作成した企画書を発表する。文化コースでは日本と自国の季節に対する感じ方、楽しみ方、表現の違いを考え、発表する。
C1	上級 9 か月 600 時間	ある話題について話し手それぞれの意見が異なる対話を聞き、その情報をまとめて相手に伝える練習をする。また、口語的表現で会話ができるように、合わせて練習をする。独話ではフォーマルな説明、公の場での話、講演等を読み、内容を聞き取り、理解する練習をする。聞きながらノートを取り、文を再構築し、内容をまとめる練習も行う。JLPTN1レベルの聴解問題を解き、問題に慣れる。就職活動に有利となる BJT の対策も行う。文化コースでは日本の風土や建物から考えた文化の説明を聞く。	公の場、私的な場、様々な場面での会話や文章に必要なことば・表現の意味の理解、実際の運用につながる練習を行い、ある場面を与え、適切に運用できるかを口頭や文章で学習者同士で確認し合う。理解から運用への指導を中心に行う。特にことばや表現の場による使い分けに注意するよう指導する。JLPTN1レベルの問題を解き、問題に慣れる。	テキストを使用し、学習者の留学生生活において必要な場、また専門的な分野においてよく使用される漢字を使ったことばを学ぶ。毎日もしくは隔日で 1 単位時間 (4.5 分) かけて 7、8 個ずつ「読み」「書き」を PPT・漢字カード等を使って、漢字の部首や音を確認しながら、意味、ことばとしての使い方、文作りを指導する。初見の漢字のおおよその意味が推測できるように指導していく。JLPTN1レベルの問題を解き、問題に慣れる。	現代社会の国際的な話題、専門的な内容、社会的なことに係るテーマを扱い、ことばや表現を口頭や文章で確認し、テーマについての意見を互いに交換した後、800 字以上で作文を書く。自分の体験、目の現状をふまえて、原因や意見を述べ、未来の予測も入れていくようにする。企画書の目的と書き方を理解し、テーマに沿って実際に企画書を書く。	広範な問題を含んだテーマの様々な内容の文章を読んでいく。読む前にそのトピックについて話し合う。全文の大意を取り、話の構成を確認し、段落ごとに精読していく。読み終えた後、意見を口頭、もしくは文章で表す。音読ではプロソディに注目した練習をする。JLPTN1レベルの読解問題を解き、問題に慣れる。就職活動に有利となる BJT の対策も行う。	問題を含む広範なテーマについて自分の意見や経験を学習者同士で交換し、その問題の原因や解決策、今後の予測等を話し合う。日常生活で行われる様々な場面でのミニ会話をペアで練習し、学習者同士で考えた会話を発表する。その際、口語的な表現、縮約形、目上かどうか、関係性等を考え、ふさわしい表現が使えるように練習する。就職先で経験するであろうグループディスカッションの流れと役割分担を知り、実際に身近なテーマでやってみる。ビジネス場面での実用的な会話力 (トラブル対応等) を身につける練習をする。文化コースでは日本の季節に合った俳句を詠む。	学習したことば・表現を使って、広範なテーマについて自身の経験、考え、変化、新しく得た知識等、学習者同士、またはクラスメートの前に立って発表する。あるテーマを与え、グループでアンケート発表をする。聴衆をひきつけ、何らかの感情を引き起こすようなプレゼンテーション方法も練習する。グループで作成した企画書を発表する。文化コースでは日本と自国の季節に対する感じ方、楽しみ方、表現の違いを考え、発表する。